



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和5年 11 月 日
つばさだより 第 9 号

中学校という大海へ「元気ですか？先輩」

先月、小学校、中学校との連携会議があり聖ヶ丘中学校で授業を参観する機会がありました。かつて支援教室を利用していた「先輩」の学習の様子を見てきました。参観して感じたのは、小学校から中学校への成長の変化の大きさでした。たまに登校時にあいさつを交わす生徒もいるので、それとなく背格好のイメージがついている感じもあるのですが、実際に中学生として指導を受けている場面を目の当たりにするとやはり驚いてしまいました。各教科では当然のことながら一斉に先生から指示や指導が開始されていきます。教科書の準備、口頭指示での注意喚起。ノートやプリントへの書き写し。挙手、発言。参観の先生もいることからピリツとした緊張感の中、授業が進んでいきます。そして、そこには「中学校の授業」に（当然今日この日の授業しか見ていないので、この日の評価ですが。）しっかりと参加している「先輩」の姿がありました。授業参観後には「こんにちは!」「お久しぶりです」「元気にやってます!」と声をかけてくれる「先輩」もいました。かつて少し頼りなさに、ときには何の怖さも感じることなくあちこちにぶつかりながら精一杯全力で小学生をしていた彼、彼女らが「中学生」として立派に授業を受けている姿に成長の大きさを感じました。小学校の6年間から中学の3年間は子供にとっても成長のスピードを客観的に感じられるようになる激変の時間です。内面には多くの悩みを抱えているのかもしれませんが。それでもこれまで以上の「大海」で日々戦っている姿にはやはり熱いものを感じてしまう授業参観でした。（*巡回校の卒業生の様子も含む内容になっています。）

～読書の秋・かがやき文庫絵本紹介～

「カラーモンスター・きもちはなにいろ？」 作 アナ・レナス 訳 おおとも たけし

「うれしい」「かなしい」「いかり」「ふあん」「おだやか」いろいろな気持ちがあるけど、ごちゃごちゃしてしまうこともある。そんなときはどうすればいい？色付きのモンスターと一緒に気持ちを色分けして整理していくと。モンスターの視覚や色彩を使って気持ちが整理できていく一冊です。個別や小集団の指導での読み聞かせて使う中でも、自分が感じている「気持ち」に対してのイメージが湧きやすくなった一冊でした。

